

## 国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肝細胞癌 エビルビシン動注療法						
疾患名	肝細胞癌						
診療科名	消化器内科						
登録医師名	兒玉 英章						
適応	肝細胞癌						

## 臨床区分

- 日常診療  
 単施設自主研究  
 他施設自主研究  
 市販後臨床研究  
 治験

## 抗癌剤適応分類

- 進行・再発化学療法  
 術後化学療法  
 術前化学療法  
 局所療法  
 その他

## 登録日

2025年9月3日

## 1クール期間

7日

## 実施回数

回

Ro	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	投与場所	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
								day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	エビルビシン10mg オムニパーク300洼	4 5	V mL	動注	カテ室			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1)TACEのバスが入っているか確認すること 2)薬剤部で調製 エビルビシン4Vをオムニパーク5mLで溶解し、可能な限り採取する 3)5mLシリンジで調製 4)オムニパークの残薬はバイアルのままエビルビシンと共に払い出し 5)全職種共通 レジメン管理表の補足の項を確認して行動すること
2																			
3																			

## 備考欄

肝動脈塞栓療法(TACE)のバスが入っていることを確認すること

## 減量・中止基準

--

## 文献

## 補足

医師はエビルビシンが使用可能と判断されたら薬剤部へ調製依頼を行う。(実施可の入力があっても調製しない)  
 調製依頼後、薬剤師はエビルビシンの調製を行う。  
 調製終了後、薬剤師は病棟へ調製完了の電話を行い、看護師は薬剤部からエビルビシンを受け取る。  
 看護師はエビルビシンを血管造影室へ持参し医師へエビルビシンを手渡す。  
 抗癌剤が未使用になった場合には血管造影室で破損処理を行い、廃棄する。